

# ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第63号

古牧だより通算157号

## 住んで良かったといえる古牧を目指し

### 26年度 福祉大会開催

年度初めの恒例行事となった福祉部会による「福祉大会」が、5月23日(金)古牧公民館において総勢140人の参加のもと開催されました。

これは古牧地区で福祉活動に携わる委員と各関係団体が一堂に集まり福祉に関する研修を行うとともに、これからの意識高揚を図るため行われたものです。

大会の開始にあたり、今年度新たに就任した小林逸郎古牧地区住民自治協議会会長より「ここ古牧には福祉を含めさまざまな課題があるが、皆さん方と力を合わせて解決したい」と主催者あいさつがありました。続いて来賓を代表し長野市社会福祉協議会田中事務局次長、小林秀子市議会議員より激励の祝辞を頂きました。

これより本題に入り、福祉部会の取組みにつき傘木部会長より、「住みよい古牧地区を目指して、多くの人とふれ合い、認め合い、支え合う取組、そしてこの絆を一層深めるため多様な福祉活動を行いたい」、また、「地区福祉活動計画も策定後4年が経過したので時代の変化に即応した見直しに着手する」と今年度の活動方針が示されました。

つづいて福祉部会の三部門の代表より「具体的な各部事業計画」の発表と福祉コーディネーターから「地域助け合い事業の現状と課題について」の説明がありました。

実例発表では南長池区の福祉活動が報告され、主な事業として①ふれあい会食年3回、②おしゃべりサロン年2回、いずれもカラオ



ケ・体操・ゲーム等のあと懇親会食で歓談を楽しんでいる。また、③ふれあい会議(三世交代交流餅つき大会)、④友愛訪問(年末に独居高齢者宅の訪問)などの活動も活発に行っている。これら活動の成功のカギは、地域内での日頃の気軽な近所付き合い、声掛けの大切さを改めて認識すると共に、多数の参加者、特に男性の方々の参加を願っておりました。

最後に、長野市保健福祉部の中西主査を講師に迎えて「10年後に備えた地域づくり」をテーマに約1時間の講演が行われました。

10年後というのは「団塊の世代」が75歳に達し、高齢者が倍増するにもかかわらず、働く世代の減少もあり医療・介護サービス費が追い付かなくなる時代です。そのためにもこれからは長寿より健康年齢(日常生活を健康的に送る期間)を増やすことの必要性とその方策について説かれました。

10年先というとだいぶ先の事だけど、いつ始めれば?「今!すぐでしょう」と答えたいくなる熱気を感じられる講演会でした。

(福祉健康部)



## あいさつ運動、子ども会総会

あいさつ運動は、5月19日（月）から30日（金）までの期間中、朝の通勤通学時間に合わせて各地区の当番が子どもたちほか道行く人たちにあいさつをしました。ほとんどの方があいさつを返してくださり、気持ちの良い一日の始まりとなりました。

第13回古牧地区子ども会総会は、5月24日（土）に古牧公民館で開催されました。総会に先立ち、長野シニアリーダーズクラブの高



校生のお兄さん、お姉さん2人と指遊び、手遊びなどをして心も体もほぐれたところで子ども会総会が始まりました。

13地区それぞれに工夫を凝らした活動計画の内容や発表でした。これらの活動計画をもとに、各地区楽しく安全に、そして充実した子ども会活動ができることを期待しています。

（青少年育成部）



## 学校と地域で子どもを守る取組み

毎年行われている学校と地域で子どもを守る連絡会が、今年は5月22日（木）古牧公民館において開催されました。この連絡会には、各学校長をはじめ各学校PTA会長、住民自治協議会長、各区区長や安全部会など80名が参加し活発な意見交換会となりました。

各学校長からは、子どもたちを守る安全にかかる交通安全、不審者への対応など学校の取組み、また、近年では携帯電話などからのインターネットへの接続、ライン等へのアクセスが問題になっていることへの注意喚起や指導等を行っているとの話がありました。

子どもたちの安全を守る取組みには、地域社会、学校、PTAの皆様などとの連携を密にし

て、「地域の子どもたちは地域で守る」支援体制の強化が一層大事ではないでしょうか。

連絡会では、中央警察署、和田交番から最近の事件、事故についての説明があり、各区の取組みでは、北条区、西和田区から下校時パトロールや防犯パトロール、交通安全教室などの取組みを紹介していただきました。

（安全部会）



# 長寿おめでとう

## 老連の愛称「古牧寿(ことぶき)会」に



5月20日、古牧地区老人クラブ連合会定期総会が、古牧公民館において開かれ、夏を思わせる陽気のなか、多くの来賓を迎え盛大に行われました。今年度の総会で愛称を「古牧寿会」とする議案が承認され、引き続く大会において、白寿、米寿、ダイヤモンド婚・金婚式を迎えた68人に祝い状・記念品を、また、地域多年役員勤続功労者、多年環境美化功労者に感謝状・表彰状が傳田会長から贈られました。

### 白寿受賞者(99歳)

氏名	区名	氏名	区名
小林 幸雄	五分一	越とく	荒屋

### 米寿受賞者(88歳)

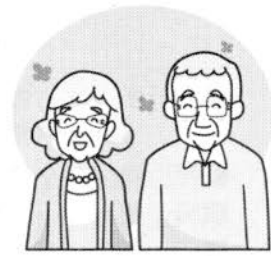
氏名	区名	氏名	区名
傳田 いわ江	北条	村田 千恵子	西尾張部
山崎 みどり	北条	馬場 幸美	西尾張部
安藤 豊子	北条	金澤 光子	東和田
坂口 胖	北条	丸山 旭	東和田
金井 覚治	北条	丸山 ヤス子	東和田
松本 光子	中村	小林 美江子	西和田
伊藤 延江	中村	堀内 貞子	西和田
浅野 昭子	中村	林 住子	西和田
沓掛 なほえ	中村	横谷 勤	西和田
門前 久美子	中村	木内 かほる	西和田
小林 幸子	五分一	清水 伝治	西和田
西條 繁雄	五分一	松山 元信	西和田
塚田 佳夫	五分一	江守 時夫	平林
菱田 照次	川端	丸山 キヨ子	平林
前田 とみ子	川端	佐藤 岩江	平林
竹下 正子	川端	小林 工	平林
小山 さと子	川端	若林 たか	平林
霜鳥 米一	川端	野中 忠雄	平林
山岸 成子	上高田		
宮澤 秀夫	上高田		
湯田坂 茂子	上高田		
小池 美子	南高田		
青木 照子	南高田		
長田 あい子	南高田		
原 しず子	南長池		
森山 信敏	南長池		
中島 勤	西尾張部		

### ダイヤモンド婚受賞者(60年)

氏名	区名	氏名	区名
増田 長一	川端	倉島 久幸	川端
増田 ヤイ	川端	倉島 とし子	川端
中沢 雄司	川端	中澤 和雄	上高田
中沢 花枝	川端	中澤 元子	上高田

### 金婚受賞者(50年)

氏名	区名	氏名	区名
小林 昭士	北条	大久保 卓	東和田
小林 ちか	北条	大久保 節子	東和田
中村 守男	北条	中村 邦雄	東和田
中村 みつる	北条	中村 節子	東和田
曾根 敏行	北条	太田 衛子	西和田
曾根 美代子	北条	太田 英子	西和田
依田 賢	川端	井原 寛一	西和田
依田 さき子	川端	井原 玉江	西和田
前島 伝き	川端	仁科 孝夫	西和田
前島 ゆき	川端	仁科 寿津子	西和田
前嶋 忠治	川端	長田 守子	平林
前嶋 百合子	川端	長田 陽子	平林
三橋 昭	川端	富澤 俊雄	平林
三橋 フサ子	川端	富澤 初美	平林
和田 要	上高田	宮澤 啓司	平林
和田 清江	上高田	宮澤 茂子	平林
辻 勝男	西尾張部		
辻 寿々子	西尾張部		



### 会長表彰

(地域多年役員勤続功労者)

(多年環境美化功労者)

氏名	区名	氏名	区名
馬場 和夫	西尾張部	保井 勉	東和田
馬場 幸美	西尾張部		
井原 一栄	西和田		

# 6月から8月までの主な事業実施日のお知らせ

\*の事業は、多くの皆様の参加をお願いします

事業名	実施日	場所	実施内容	お問合せ先
護身術講習会 *	6月15日(日)	古牧公民館	自分の身を守る術の習得	防犯部 226-2525
古牧地区男女共同 参画セミナー *	6月25日(水)	古牧公民館	男女共同参画社会の意識の高揚を図る	人権・男女参画部 263-3134
にとはちさま公演 *	7月6日(日)	南部小学校	小学生の演技を通して、先人の偉業を学ぶ	にとはちさま保存会 241-9124
健康講演会 *	7月11日(金)	古牧公民館	健康食の習得を図る	古牧ボランティアセンター 244-8159
中学生球技大会	7月13日(日)	ヤングファラオ	中学生の交流を深める	青少年育成部 477-2185
夏の交通安全運動	7月19日(土)		交通安全の啓発(19日~25日)	交通安全部 227-8219
社会を明るくする 運動集会 *	7月26日(土)	古牧公民館	青少年の非行問題の理解を深める	実行委員会(総務部) 259-8359
世代交流マレット ゴルフ大会 *	7月27日(日)	長野運動公園	地域の活性化及び住民のコミュニケーションを図る	福祉健康部 243-3519
古牧地区親睦 ゴルフ大会 *	7月29日(火)	長野カントリー クラブ	地域住民の親睦、コミュニケーションを図る	総務部 259-8359
夏季防犯夜間 パトロール	8月上旬	各区	夜間における地区内、遊技場等のパトロール	防犯部 226-2525
一人暮らし 高齢者のつどい *	8月20日(水)	古牧公民館		福祉健康部 243-3519
防火・防犯ポスター 審査会	8月23日(土)	古牧公民館	防火・防犯啓発ポスター応募作品の審査	防犯部 226-2525
公民館対抗球技大会	8月24日(日)	古牧小・犀川グ ラウンド外	地区公民館の野球・バレー・卓球対抗試合及び交流	公民館部 226-1562

## しゃばえんびつ



### ふるさとをつながり

五月の連休に地域の神社のお祭りが行われた。早朝からの準備や神事、子ども神輿や神楽等地域が一体となり、今年度の家内や地域の安全、五穀豊穡等を願ったのである。

今年は、子ども神輿の参加が例年より多く、玉串奉奠も昨年よりも増えていた。

小学生のころ、父の実家のお祭りに行った時、知らない親戚や初めて出会う従兄弟に人とのいろんなつながりを感じる時もあった。また、わずかであるが夜店のお小遣いをもらうことも魅力の一つであった。

当時のお宮の境内は子どもたちの遊び場であり情報センターでもあった。遊び相手がいなくても誰かに会える場所であり、行き先がわかる所であった。鬼ごっこ・缶蹴り・主力艦・釘立て・ビー玉・秘密基地等、よく遊んだふるさとの思いに繋がる場所でもある。自分のふるさと子ども時代の時代にあると言っても言い過ぎではない。

地域で育つということは、何かしらの共通の思いや体験を持つことであり、つながりである。祭囃子のトウヒヤラヒヤットヒヤラヒヤラ……と耳に残る音。子ども神輿で練り歩くこと。どんど焼き、盆踊り等地域に残る昔からの行事や友達同士の遊びは、ふるさととの原風景の最たるものに違いない。

しかし、祭りや行事を通してだけのものではなく、人と人(子ども同士)との繋がりが、日常生活の中で知らぬ間に出来ていくふるさとであってほしいものである。

(祭りへの参加は各個人の自由意志によるもの)

(月岡 純一)



### 古牧地区の世帯数と人口

26年5月1日現在

10,870 世帯

26,438 人

(男 12,970人 女 13,468人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会 (電話 259-8359)
- 発行者 小林 逸郎
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 ㈱小池印刷